



Snap Shot ～笑顔があふれたその瞬間～

Smile⑧「地域の力を生かした『ユウガオ(かんぴょう)』学習」

下都賀地区生涯学習研究会 広報委員
下野市立石橋北小学校 教諭 澤田 貴典

石橋北小学校では、3年生の総合的な学習の時間に「かんぴょうのひみつを探ろう」と題し、地域の特産品でもある「ユウガオ(かんぴょう)」について、地域の多くの方々からご協力をいただき、学習に取り組んでいます。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、地域の方々を招くことができませんでしたので、昨年度の取り組みを紹介します。

その1つ目が、「ユウガオの皮むき体験」です。かんぴょう農家の方に、ユウガオの皮むきを実際にさせていただき、むいた皮を干す作業の見学もできたことで、ユウガオからかんぴょうへの変化を実感できました。



2つ目は、「ふくべ細工作り体験」です。地域のふくべ細工の講師に来ていただき、ユウガオの外皮を利用したふくべ細工作りを体験しました。



地域に残る文化を知り、地域を愛する気持ちが高まりました。



3つ目は、「かんぴょう料理体験」です。地域のかんぴょう料理の講師に来ていただき、かんぴょう料理作りを体験しました。かんぴょうへの関心が高まり、地域の特産品であるかんぴょうの良さを再確認することができました。

コロナ禍において、地域の優れた教育力をあまり生かすことができなかったことで、逆にその有り難みや大切さを痛感した1年間となりました。来年度は、偉大な地域の力を生かせるよう、新型コロナウイルスの収束を切に願います。



Snap Shot ～笑顔があふれたその瞬間～

Smile⑨「和太鼓に感謝の気持ちに乗せて」～生徒の笑顔でつなぐ伝統～

下都賀地区生涯学習研究会 広報委員
栃木市立栃木南中学校 教諭 出井 宏和

本校では、地域の方と触れ合う機会のある行事がいくつかあります。その中の一つが、学校祭である「南斗祭」のセレモニーで披露する和太鼓です。今年度は、南斗祭の実施自体が難しいと思っていたので、縮小ながらも実施が決まったときには多くの生徒が喜びました。

和太鼓の指導は、地域の和蔵会という和太鼓に取り組むメンバーの方が指導していただけます。今年度は、例年と違って発表する場が学校の体育館ではなく、栃木文化会館でできるということもあり、演目も例年とは変えて、難易度の高いものに取り組むことになりました。

練習時間は放課後の音楽室。限られた時間でしたが、真剣な表情の中にも笑顔が見られ、よい雰囲気の中での練習でした。そして、



本番では、「演奏することができることに對する感謝の気持ちを多くの人に伝えたい」と、初めての演目であるにもかかわらず、立派に最後まで演奏した生徒とそれを見守る和蔵会の方の笑顔が輝いていました。

こうした地域と学校のつながりを今後も大切にしていきたいです。



「南斗祭」本番の様子



ご報告

令和3年2月2日(火)、小山市桑市民交流センター(マルベリー館)にて開催予定でした、令和2年度下都賀地区生涯学習研究会第2回研修会(下都賀地区ふれあい学習ネットワーク)は、新型コロナウイルス感染症対策として、参加者及び関係者の健康・安全面を第一に考慮した結果、中止とさせていただきます。

「Snap Shot ～笑顔があふれたその瞬間～」の原稿を執筆くださいました広報委員の皆様、どうもありがとうございました。



発行 下都賀地区生涯学習研究会
事務局 下都賀教育事務所ふれあい学習課内

TEL 0282-23-3422 / FAX 0282-23-3502
E-mail shimotsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp